

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解科  
目コード:130012

## 人間病態学演習Ⅱ Practicum:Human Pathology Ⅱ

担当教員	今井 美和										
実務経験	病院勤務経験のある教員が担当している。										
開講年次	2年次前期			単位数	1			授業形態	演習		
必修・選択	必修			時間数	30						
該当ディプロマポリシー	(1)		(2)	○	(3)	◎	(4)		(5)		(6)
Keywords	病理、先天異常、循環障害、代謝障害、腫瘍										
学習目的・目標	目的:先天異常疾患、循環障害を呈する疾患、代謝性疾患、腫瘍性疾患の病態を形態観察を通して理解する。 目標:病理学および微生物学の専門用語を用いて、各疾患の病態を説明できる。										
授業計画・内容											
回	内容										
1-2	オリエンテーション 先天異常: 常染色体数の異常疾患、性染色体数の異常疾患、 常染色体顕性遺伝病、常染色体潜性遺伝病、X連鎖潜性遺伝病										
3-6	循環障害: 門脈圧亢進症、ショック、高血圧、肺高血圧 循環障害を呈する疾患: 虚血性心疾患、動脈瘤、静脈瘤、肺塞栓症、脳血管障害など										
7-10	代謝障害: 脂質、糖質、タンパク質、核酸、無機物、色素の代謝性疾患、ビタミン過剰症、ビタミン欠乏症										
11-15	腫瘍性疾患: 呼吸器系、消化器系など										
教科書	人間病態学(病気の成り立ち) PDFファイル 人間病態学演習Ⅰ PDFファイル 人間病態学演習Ⅱ PDFファイル ステップアップ病理学ノート 第2版(サイオ出版) ステップアップ微生物学ノート 第2版(サイオ出版)										
参考図書等	ルービン カラー基本病理学(西村書店) カラーで学べる病理学(ヌーヴェルヒロカワ) ビジュアル微生物学(ヌーヴェルヒロカワ)										
評価指標	定期試験の受験資格:履修登録をしている。授業回数の2/3以上出席している。 定期試験の結果 70% + レポート および 受講態度等30%で評価する。										
関連科目	解剖生理学、代謝と栄養、人間病態学(病気の成り立ち)、人間病態学演習Ⅰ、疾病障害論、薬理学、公衆衛生学										
教員から学生へのメッセージ	解剖生理学、代謝と栄養、人間病態学(病気の成り立ち)、人間病態学演習Ⅰで学んだ基礎知識を身につけたうえで、授業に出席してください。 授業の予習、復習を行い、確実に知識を身につけて下さい。										